

小学生が夏休みに備えて交通安全を宣言

◎生活安心課 ☎36・7144

夏休みを目前に控えた小学生が7月17日、交通安全を誓い「夏休み交通安全宣言書」を提出しました。

提出式には、伊久美・島田第二・島田第三小学校の代表児童3人が参加。市長、島田警察署長、交通安全協会島田地区支部長に、道路を渡る際の左右確認などを誓いました。市長は「夕方は事故が起こりやすいため、一層気を付けてほしい。皆さんから積極的に交通安全の呼び掛けをお願いしたい」と話しました。



宣言書を提出した代表児童3人(前列)

安全を守るため園児の散歩経路などを点検

◎すぐやる課 ☎36・7152

市は7月4日、市内の幼稚園などを対象に、散歩経路の安全点検を開始しました。

この日は、都市計画道路横井中央線と同横井御飯屋線との交差点付近の安全点検を実施。市長も参加し、園の担当者や島田警察署、道路管理者と意見を交わしました。点検現場は、1日1万7000台もの車両が通過する、市内でも交通量の多い交差点。参加者は、金属ポールが設置できないか、青信号の時間が延長できないかなど、交差点での事故を想

定した対策案を検討しました。



交差点での事故防止を検討する関係者

島田大祭に向けカウントダウンボードを設置

◎観光課 ☎36・7163

7月4日、市は今年開かれる、「島田大祭(帯まつり)」に向けたカウントダウンボードを、市役所正面玄関に設置しました。

市長は「300年以上続く歴史ある大祭。島田市が一体となる祭りとなってほしい」とあいさつ。続いて保存振興会の堀江良則会長らと一緒に、「あと100日」と書かれたボードの除幕を行いました。その後、大名行列の花形である「大奴」も登場し、3年に一度の本番に向けた機運を盛り上げました。



カウントダウンボードの前で記念撮影する関係者

リッチモンド市友好親善使節が市長を訪問

◎島田市国際交流協会(文化資源活用課内) ☎36・7390

7月2日、市を訪れている姉妹都市リッチモンド市の友好親善使節6人が、染谷市長を訪問しました。

市長は「島田での生活を大いに楽しんでもらい、たくさんの方との交流を通してお互いの絆を深めてほしい」とあいさつしました。

使節は、6月27日から7月20日までホームステイをしながら、学校や企業を訪問。日本文化などを通して、市民との交流を深めました。



市長・教育長と記念撮影する親善使節の皆さん

島田空襲被爆者の慰霊碑に平和への誓い

◎市民協働課 ☎36・7197

7月26日、扇町に投下された原爆の「模擬爆弾」による犠牲者を慰霊する「島田空襲被爆者慰霊のつどい」が扇町公園で行われ、遺族や関係者など約120人が参列しました。

式典では、犠牲者に黙とうをささげた後、島田第二小学校3年生の山田桃花さんと6年生の太田陽介さんが、平和への誓いを朗読。祖父母の話も聞いた太田さんは「戦争をしても誰も幸せにならないという言葉の意味について、もっと理解を深めたい」と平和の尊さを読み上げました。



慰霊碑に向かい献花する染谷市長

令和元年度優良建設工事主任技術者を表彰

◎契約検査課 ☎36・7220

7月26日、平成30年度に行われた建設工事の中で、特に優れていると認められた技術者を表彰しました。

受賞したのは、(株)丸紅の福代紘大さんと、池村建設(株)の松田栄樹さんの2人。福代さんは、初倉の配水管布設替工事を担当し、松田さんは福用の林道開設工事を担当。それぞれ、地元住民への工事内容の説明や施工管理上の工夫、現場条件に合わせた工程管理や施工技術などが評価されました。



(左から) 松田さん、染谷市長、福代さん

第7回志太3市市長会談を島田市で開催

◎戦略推進課 ☎36・7366

7月9日、志太3市の市長会談を島田市役所で開催しました。

今回で7回目となる会談では、来たる「Society 5.0」の時代に羽ばたく人材を育てることをテーマに協議。地域創生の人材育成では、若い世代がまちづくりに関わり、地域に根付くための取り組みを連携して行うことを確認しました。また、発達に課題がある人に対する支援として、各市で使用しているファイルの共通化・活用に向けて、研究することとし



中野焼津市長・染谷市長・北村藤枝市長

全国食生活改善推進員名誉会員が市長を表彰訪問

◎健康づくり課 ☎34・3281

島田市健康づくり食生活推進員の杉山かずさんが、全国食生活改善推進員名誉会員を受賞し、6月27日、市役所へ報告に訪れました。

この表彰は、全国の満90歳の現役会員に与えられるもので、杉山さんは島田市食生活推進協議会設立当初の約42年前から、食に関する普及啓発活動を続けています。染谷市長は「食は誰にとっても生きる源であって、大切なもの。食に対する大切さが失われつつある現代で、杉山さんのように食を大事にする心を、若い世

代にも伝えていってほしい」と、長きにわたる活動と受賞を称えました。



杉山かずさん(前段)と食推協会員

ました。3市で連携し、地域愛溢れる人材育成に取り組んでいきます。